

許 可 番 号	倫-664
研 究 課 題 名	入院を要した角膜潰瘍例に関する検討
診 療 科	眼科
研 究 責 任 者	土至田 宏
資 料 ・ 情 報 の 管 理 責 任 者	太田 俊彦
研究の目的と方法	<p>【研究の目的】角膜潰瘍は、失明に至る可能性のある重症の眼疾患である。その原因は、細菌や真菌、ヘルペスウィルスなどによる感染性のものから、リウマチ関連、自己免疫関連、原因不明のものまで多岐に渡る。近年は積極的な加療を要し、入院を必要とする症例が増加してきた印象がある。そこで今回、当院において入院加療を要した角膜潰瘍例の最近の傾向を検討する。</p> <p>【方法】角膜潰瘍で入院加療を要した方の誘因、検出菌、観血的治療の有無、入院日数、視力予後などについてカルテの記載や検査結果を元にその傾向についてレトロスペクティブに集計し、検討する。</p>
利用、又は提供する 試料・情報の項目	検出菌の種類、視力の平均値等の検査データと平均年齢、人数、患者背景、入院期間、治療内容等。
研 究 対 象 者	下記期間中に入院加療を行った角膜潰瘍患者
研 究 対 象 期 間	2016年4月1日から 2020年6月30日の間
利用する者の範囲	当院のみで実施
個人情報の取扱い に つ い て	使用するデータは、個人情報特定されないよう匿名化に十分配慮して扱います。 研究成果が公表される場合にも、患者さんが特定できるような情報が公表されることはありません。
お問い合わせ先	<p>該当する研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報を利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。</p> <p>順天堂大学医学部附属静岡病院 眼科 電話：055-948-3111(代表) 研究責任者：土至田 宏</p>